

平成30年度  
事業報告

〔 自平成30年4月1日  
至平成31年3月31日 〕

I 事業及び収入・支出の概要

1. 事業活動の概要

- (1) 調査・研究事業については、研究会として「先端フォトニクス国際シンポジウム（第2回）」を開催した。同シンポジウムは、「超高速時間分解光計測研究会」（第1回～第7回）を改め、これまでの実績を踏まえて平成30年度に世界のトップレベルの研究者を集め、より国際的な場での議論を交わす研究会の形で開催した。及び、「農業・工業原材料生産と光技術研究会（第20回）」を開催した。また、光産業創成大学院大学に委託して「レーザー科学技術の将来に関する調査研究」を行った。
- (2) 第1回晝馬輝夫 光科学賞については、秀でた研究者1名を選出して光科学賞を授与して顕彰した。研究助成事業については、第1課題“光科学の未知領域の研究—とくに光の本質について”及び第2課題“細胞間あるいは分子間の情報伝達についての研究”をもって広く公募し、当年度の新規助成として第1課題16件、第2課題18件、前年度の継続助成として第1課題14件、第2課題12件に対して研究資金の授与による助成を行った。
- (3) 普及啓発事業については、毎年開催している「浜松コンファレンス（第35回）」を開催、また晝馬輝夫 光科学賞の授賞者講演、研究助成の「研究成果報告講演会（平成28年度研究助成者の内から2名を選抜）」も開催した。さらに、委託研究の報告書集、講演録等を作成し、広く配布した。
- (4) 交流・協力事業については、他機関・団体の主催する事業等にも積極的に参加し、外部研究者との交流に努めた。

2. 事業活動における収入・支出の概要

- (1) 経常収益としては、一般企業及び個人からの寄附金115,100千円、基本財産・特定資産・運用財産の運用収入約23,767千円、各種会議・研究会等の参加料収入約29千円、このほか宿泊棟の利用料収入が約227千円あり、全体として約139,123千円であった。前年度に比し約3,785千円増加した。
- (2) 一方、経常費用については事業費が約104,133千円で前年度に比し約2,380千円の減少となっている。これは「光科学技術で拓く脳・精神科学平和探求研究会」が、隔年毎開催のため当年度においては開催されなかったことが大きな理由である。

3. 以上の結果、経常収益合計約139,123千円と経常費用（事業費と管理費の合計）約120,601千円との差約18,522千円が経常面での正味財産増加となった。

## II 年度末正味財産の状況

流動資産	60,541,361円
現金預金	60,541,361円
固定資産	3,519,469,815円
基本財産	3,450,679,900円
特定資産	50,000,000円
その他固定資産	18,789,915円
流動負債	370,540円
預り金	370,540円
正味財産	3,579,640,636円

※ 基本財産の増加は、晝馬輝夫氏より浜松ホトニクス株式会社の株式（682,000株）が遺贈されたものである。（682,000×4,280（2019/3/31 価格）=2,918,960,000円）

## III 事業活動の内容

### 1. 調査・研究事業（定款 第4条第1号関係）

#### （1）研究会の開催及び委託研究の実施

##### ① 研究会の開催

名 称	先端フォトニクス国際シンポジウム（第2回） 英文名称：The 2 <sup>nd</sup> International Symposium on Advanced Photonics (iSAP-Hamamatsu 2018)
開 催 日	平成30年4月18日（水）～19日（木）
開 催 場 所	浜松市／ホテル九重（浜名湖かんざんじ温泉）
参 加 人 数	119名

〈資料1：先端フォトニクス国際シンポジウム（第2回）〉

名 称	農業・工業原材料生産と光技術研究会(第20回) 『農業生産物の質（クオリティー）を光計測する』
開 催 日	平成30年10月16日（火）、見学会 17日（水）
開 催 場 所	浜松市／ホテルクラウンパレス浜松（研究会） 〃／浜松ホトニクス株式会社 中央研究所（見学） 〃／株式会社 浜松ホトアグリ 事業現場（見学）
参 加 人 数	研究会 109名、見学会 16名

〈資料2：農業・工業原材料生産と光技術研究会〉

##### ② 委託調査研究

研究テーマ	レーザー科学技術の将来に関する調査研究
内 容	レーザー科学技術と社会へのインパクト
委 託 先	光産業創成大学院大学

〈資料3：レーザー科学技術の将来に関する調査研究〉

(2) 資料・文献の収集

光科学技術に関する資料・文献としてPhysical ReviewのA、B、C、D、E、Lettersをオンライン版にしてWeb上での検索参照ができるようにし、広く利用するよう努めた。

2. 顕彰・研究助成事業（定款 第4条第2号関係）

(1) 晝馬輝夫 光科学賞

対 象 者	日本の光科学の基礎研究や光科学技術の発展に貢献する研究において、独自に独創的な研究業績を挙げた研究者個人で、応募締切時点で45歳未満の者。外国籍の場合は日本の大学等公的機関に5年以上在籍し、その間に対象となる研究成果の中核を形成された者。学識経験者による推薦書によるものとする。
応 募 件 数	5件
対象者数・金額	1名 副賞 5,000千円

〈資料4：晝馬輝夫 光科学賞・研究助成 一覧表〉

(2) 研究助成

募 集 課 題	第1課題 光科学の未知領域の研究—とくに光の本質について 第2課題 細胞間あるいは分子間の情報伝達についての研究
応 募 件 数	第1課題 43件 第2課題 58件
助成件数・金額	第1課題 16件 第2課題 18件 総額 34,400千円
前年度継続分の助成件数・金額	第1課題 14件 第2課題 12件 総額 15,600千円

〈資料4：晝馬輝夫 光科学賞・研究助成 一覧表〉

(3) 募集案内

国立・公立・私立大学の理・工・医の学部、関係研究科、研究機関等361施設に対し、応募要項・ポスターを直接送付、また学会誌及びホームページ等に公告を掲載し、広く募集を行った。

(4) 入選者の決定、晝馬輝夫 光科学賞・研究助成金 贈呈式

審査委員による個別選考を行ったのち、審査委員会及び理事会における審議を経て入選者を決定し、平成31年3月7日(木)に浜松市内のホテル会場で第1回晝馬輝夫 光科学賞及び研究助成金 贈呈式を開催した。式典には、入選者等関係者のほか行政・教育・産業等各界から多数の出席があった。

### 3. 普及啓発事業（定款 第4条第3号関係）

#### （1）浜松コンファレンスの開催

名 称	浜松コンファレンス（第35回） — 新しい文化論
内 容	光をテーマとして文化の日に因んで開催した。光科学技術における先端的研究が市民生活にどう関わり合いを持っているかを解説するとともに、光科学技術によって人類あまねく真に健康で、幸福な世界を築こうという理念を啓蒙普及したいとする集いである。 挨拶：晝馬 明 公益財団法人 光科学技術研究振興財団理事長 講演：「量子力学に残された100年の謎に迫る」 大森 賢治 自然科学研究機構 分子科学研究所 研究主幹・教授
開催日	平成30年11月3日（土）
開催場所	浜松市／アクトシティ浜松・中ホール
参加人数	780名

#### （2）晝馬輝夫 光科学賞受賞講演及び助成研究の報告講演会の開催

名 称	晝馬輝夫 光科学賞受賞講演、及び研究助成の研究成果報告講演会
内 容	第1回 晝馬輝夫 光科学賞 受賞者講演 ・ 高橋 栄治 氏 特定国立研究開発法人 理化学研究所 専任研究員 「新規手法による高強度アト秒パルス光源の実現」  研究助成成果報告講演 研究助成事業で2年前(平成28年度)に助成金を授与した研究の中から2件を選定して、研究成果についての報告講演会を開催した。 ・ 清水 亮介 氏 電気通信大学 大学院情報理工学研究科 准教授 「量子もつれ光子に対するフーリエ二重性の研究」 ・ 浜田 俊幸 氏 国際医療福祉大学 薬学部薬学科 准教授 「リアルタイムに乳癌を検出する組織密着型センサーシステムの開発と応用」
開催日	平成31年3月7日（水）
開催場所	浜松市／ホテルクラウンパレス浜松
参加人数	133名

#### （3）報告書・講演録等の配布

開催した研究会の講演録、委託研究の報告書等を作成し、広く配布した。

#### 4. 交流・協力事業（定款 第4条第4号関係）

- ・合同研究会（日本分光学会、生細胞分光部会、レーザー学会、ニューロフォトンクス研究会）へ開催費用の一部を負担した。
- ・レーザーものづくり中核人材育成講座（光産業創成大学院大学）へ運営資金として協力を負担した。

#### IV 寄附の受け入れ

- ・運用財産として3法人と個人から115,100千円の寄附金を受け入れた。  
〈資料5：受け入れ寄附金一覧表〉
- ・基本財産として晝馬輝夫氏からの遺贈として、株式を受け入れた。  
〈資料6：受け入れ寄附〉

#### V 届出・申請

年 月 日	内 容	提 出 先
平成30年4月27日	定款変更の届出	内閣府
平成30年6月28日	平成29年度事業報告等の提出	内閣府
平成30年9月12日	第35回浜松コンファレンス後援名義 使用許可申請	浜松市、浜松商工会議所、 浜松・浜名湖ツーリズムビュ ーロー、浜松ホトニクス株式 会社
平成31年3月28日	平成31年度事業計画書等の提出	内閣府

#### VI 理事会・評議員会等会議

理事会・評議員会・審査委員会を次のとおり開催し、それぞれ上程の議案が承認・可決された。

開催日・場所	会 議	主な議案
平成30年5月23日 東京/如水会館	理事会 平成30年度第1回	・平成29年度事業報告・決算承認、他 ・晝馬輝夫氏からの遺贈に関する件
平成30年6月8日 東京/如水会館	評議員会 平成30年度第1回	・平成29年度事業報告・決算承認、他 ・理事選任と退任の件
平成30年9月14日 東京/如水会館	予備審査委員会	・晝馬輝夫 光科学賞予備審査
平成30年10月30日 書面決議による	臨時理事会	・寄附金受け入れ
平成30年12月5日 東京/如水会館	審査委員会 平成30年度第1回	・平成30年度晝馬輝夫 光科学賞選考 ・平成30年度研究助成選考 ・平成29年度助成の研究者に対する 継続助成選考

平成 30 年 12 月 5 日 東京/如水会館	理事会 平成 30 年度第 2 回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 30 年度晝馬輝夫 光科学賞決定</li> <li>・平成 30 年度研究助成決定</li> <li>・平成 29 年度助成の研究者に対する継続助成決定</li> </ul>
平成 31 年 3 月 7 日 浜松/ホテルクラウンパレス浜松	理事会 平成 30 年度第 3 回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 31 年度事業計画・予算承認、他</li> </ul>
平成 31 年 3 月 8 日 浜松/ホテルクラウンパレス浜松	評議員会 平成 30 年度第 2 回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 31 年度事業計画・予算承認、他</li> <li>・評議員退任と選任の件</li> </ul>